

# 北海道ドライブ観光促進プラットフォーム会合を開催しました

令和元年5月28日、外国人観光客を北海道内各地へ誘導し、北海道総合開発計画に掲げられた「世界水準の観光地」の実現に向けた取組として、北海道ドライブ観光促進プラットフォーム会合を開催。国、道、自治体、経済団体、観光協会など約110名が参加。

## 開催概要

開会挨拶：国土交通省 北海道開発局 開発監理部 次長 平野 令緒

- 議題（１）外国人ドライブ観光客の周遊・滞在実態について  
北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課 中林 英晃
- （２）「Drive Hokkaido」取得データの利活用について  
（株）ナビタイムジャパン インバウンド事業部長 藤澤 政志 氏
- （３）外国人ドライブ観光の促進に向けた提案について  
北海道科学大学教授 石田 眞二 氏



## 開会挨拶

北海道を主にレンタカーで観光する外国人観光客は年々増加している。  
この機会を捉えて、より多くの外国人観光客に北海道内をより一層周遊して楽しんでいただき、北海道の地域経済の活性化に繋げていくために、移動経路等のデータを活かして、戦略的に取り組むことが重要。



## (1)外国人ドライブ観光客の周遊・滞在実態について

・来道外国人旅行者全体と比べ、外国人ドライブ観光客は、より地方部を、より長く滞在しているため、外国人ドライブ観光の促進は地方部への誘客に有効であることが取得データから把握できた。  
・例えば、地域間・観光施設間の結びつきや季節間の変動等の把握により、効果的な施策の立案や効果検証が可能となることから、参加機関による本データの引き続きの活用を期待。



## (2)「Drive Hokkaido」取得データの利活用について

・アプリ「Drivehokkaido!」は、「旅マエ～旅ナカ」をターゲットとして設計し、情報を提供している。  
・データは事実が把握できる「定量的データ」と、理由を推測することができる「定性的データ」に分類できる。定性データは、皆様が実施している調査やWEBや雑誌などからも収集できるが、多くの自治体はあまり有効活用できていない。定性的データによる顧客の見える化はとても重要。  
・ITで観光が変わったと言われるが、ITがライフスタイルを変え、ライフスタイルが観光を変えたと考えている。旅行者の需要が「コト消費」から「トキ消費」になってきている。「その時」「その場所で」という考え方が大事。



## (3)外国人ドライブ観光の促進に向けた提案について

・各市町村における外国人観光客の定着率は空港周辺の自治体で高くなる傾向。また道路のネットワークと観光地を訪問する者には相関があり、道路整備は観光振興にも重要と思慮。  
・可視化したデータは面白いが、それだけで終わるのではなく、気象データや災害情報、観光資源、都市構造など様々な情報と重ね合わせ活用することが重要。  
少し先を見るためには、様々な要因で発生している現象の内、自分たちでコントロールできる要素を把握し、施策立案に繋げていく必要がある。次のステップとして、本プラットフォームで共有される情報等を活用して、地域の実態に適することを各地域の方々が考えて観光振興に繋げていくことが重要である。

